

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さあ はじめよう	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	・積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
ことばの たいそう	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	・進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
はなの みち	・敬体で書かれた文章に慣れている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	・興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。
ぶんを つくろう	・句点の打ち方を理解して文の中で使っている。 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。	・「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。	・語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
わけを はなそう	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	・話す事柄の順序を進んで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。
あいうえおで あそぼう	・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ・平仮名を読み、書いている。 ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		・進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
つぼみ	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。	・積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。
おおきく なった	・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。	・「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。	・植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。
おおきな かぶ	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	・積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。
すきな こと、なかに	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	・粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。
おむすび ころりん	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	・進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。

こんな ことが あったよ	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	・積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。
ことばの たいそう	・語のまとまりや言葉の響き【などに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	・進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。
おはなしを たのしもう	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	・進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見直しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。
よんで たしかめよう	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。	・粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。
おもいかべながら よもう	・かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	・積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。
くわしく かこう	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ・動詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。	・知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見直しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。
せつめいする 文しょうを よもう	・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選り出している。	・進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかきたいことを見つけてようとしている。
せつめいする 文しょうを かこう	・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	・分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見直しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。
ともだちと はなして、おはなしを かこう	・句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。	・物語を完成させるという見直しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。
ずきな ところを 見つけよう	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	・場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。
てがみを かこう	・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表し方を工夫することができる。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	・書いた文章を積極的に見直ししながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。

<p>本は ともだち</p>	<p>・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>	<p>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。</p>
<p>ことばの たいそう</p>	<p>・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>・「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。</p>	<p>・進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。</p>
<p>くらべて よもう</p>	<p>・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>	<p>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。</p>

ことばって、おもしろいな	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
ことばあそびをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
ふたりで かんがえよう	<ul style="list-style-type: none"> 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。
よんで かんじた ことを はなそう	<ul style="list-style-type: none"> 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
おもい出して かこう	<ul style="list-style-type: none"> ・敬体で書かれた文章に慣れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
とうじょう人物の した ことに 気をつけて 読もう	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	・進んで場面や登場人物の様子を捉え、学習課題にそって音読を聞き合ったり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
じゅんじょに 気をつけて、二つの つながり を かんがえよう	・文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	
本でしらべてしょうかいしよう	・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的にクイズにしたい生き物について調べたり必要な事柄を集めたりして、学習課題にそって、「生きものクイズカード」を書こうとしている。
くりかえしに 気をつけて、とうじょう人物の 様子を 読もう	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	・進んでお話の中の言葉や表現がもつよさを感じるとともに、学習課題にそって自分の思いや考えを伝え合おうとしている。
登場人物が考えていたことを そうぞうしよう	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	・学習課題にそって、進んで登場人物が考えていたことを、本文の言葉を根拠に想像しようとしている。
まとまりのある文章を書こう	・文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	・他教科での学習や経験を関連させながら、事柄の順序にそって構成を考え、報告する文章を書いている。
じゅんじょや様子をあらわす言葉に気をつけよう	・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	・積極的に情報と情報との関係について理解しようとして、学習課題にそって、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしている。

<p>様子をよく見て、くわしく書こう</p>	<p>・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。</p>	<p>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。</p>	<p>・進んで、友達に自分が見つけたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>心にのこったところをしょうかいし合おう</p>	<p>・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・進んで言葉や表現に着目しながらお話を読み、学習課題にそって繰り返し読むことで、初読の感想から自分の考えを深めようとしている。</p>
<p>しつもんしたり答えたりして、つないで話し合おう</p>	<p>・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。</p>	<p>・積極的に互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないで、学習課題にそって「クラスお楽しみ会」で遊ぶために、グループで話し合おうとしている。</p>
<p>せつめいのくふうをたしかめて読み、せつめい書を書こう</p>	<p>・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・進んで説明の工夫を見つけようとし、学習課題にそって、感じたことやわかったことをノートにまとめている。</p>
<p>場面や人物の様子をそうぞうして、音読けきをしよう</p>	<p>・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p>	<p>・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・すすんで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。</p>
<p>思い出をくわしく書いて、読みかえそう</p>	<p>・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。</p>	<p>・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。</p>	<p>・粘り強く文章を読み返して、今までの学習を生かして、まちがいを直そうとしたり確かめたりしている。</p>
<p>何が、どのようにかわったかに気をつけて読み、お話をしょうかいしよう</p>	<p>・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。</p>	<p>・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>・すすんで自分の体験と結びつけながらお話を読み、登場人物の行動や場面の様子に着目し、今までの学習を生かしてあらずじをまとめようとしている。</p>